

問い合わせ先
一般社団法人 公共建築協会
事業企画部 徳山、内野井(うちのい)
TEL 03-3523-0382

第 16 回公共建築賞の決定について

一般社団法人 公共建築協会（本部：東京、会長：春田浩司、以下「公共建築協会」）が主催する「第 16 回公共建築賞」の第 2 次審査がこのほど終了し、「公共建築賞」及び「公共建築賞・特別賞」が決定いたしました。

公共建築賞には、行政施設部門「高知県庁舎(免震レトロフィット)」、文化施設部門「京都国立博物館 平成知新館」、生活施設部門「東京駅丸の内駅舎 保存・復原」の 3 点が、また、公共建築・特別賞には、「弘前市民会館(大規模改修)」「東京スカイツリー、東京スカイツリータウン」「長野県立こころの医療センター駒ヶ根」の 3 点が、それぞれ選ばれました。

今回の受賞建築物は、今年 4 月に発表された「公共建築賞・優秀賞」32 建築物を対象に、第 16 回公共建築賞審査委員会（委員長：和田 章 東京工業大学名誉教授）の委員による現地調査を経て、9 月初旬に開催された審査委員会（第 3 回）で選考されたものです。

第 16 回公共建築賞の表彰式は 11 月 9 日(金)午後 2 時より「文化シヤッター BX ホール」（東京都文京区）で開催いたします。

公共建築賞は、公共建築協会が、国土交通省及び全国知事会、全国市長会、全国町村会の後援を得て、昭和 63 年から 1 年おきに実施しているものです。今回は 2017 年 6 月から公募を開始し、全国から 102 点の応募を受けました。応募建築物は、同年 10 月から行われた全国 9 地区の審査委員会で審査され、「公共建築賞・優秀賞」として 32 点が選考され、2018 年 4 月に開催された第 16 回公共建築賞審査委員会(第 2 回)で公共建築賞・優秀賞の授与が決定いたしました。

公共建築賞（国土交通大臣表彰）では、公共建築賞・優秀賞の中から、行政施設部門、文化施設部門及び生活施設部門の 3 部門ごとに、最も優れた建築物が 1 点選ばれます。（ただし、該当する建築物のない場合もあります。）

また、公共建築賞・特別賞（国土交通省大臣官房官庁営繕部長表彰）は、部門に関係なく、特に優れた特徴をもつ建築物 2 点内外が選ばれます。

公共建築賞は、優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的としたもので、広く公共建築のあるべき姿についての意識を啓発し、より優れた公共建築を生み出すことに役立たせようとするものです。他の建築賞と異なる特徴として、公共建築物を対象としていることの他に、設計施工が優れているだけでなく、地域社会への貢献や施設の管理、保全を評価することから、竣工後 3 年を経過した建築物を対象としています。

第 16 回公共建築賞審査委員会委員

敬称略、委員は 50 音順
(平成 30 年 10 月 18 日現在)

委員長	和田 章	東京工業大学名誉教授
委 員	新居 千秋	建築家、東京都市大学客員教授
	小野 幹雄	東京都財務局建築保全部長
	見城美枝子	青森大学副学長、エッセイスト
	白石 真澄	関西大学教授
	春田 浩司	(一社) 公共建築協会会長
	吉野 裕宏	国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長
	涌井 史郎	東京都市大学特別教授

第16回公共建築賞受賞建築物

公共建築賞

-行政施設、文化施設、生活施設の部門ごとに、最も優れた建築物として選考-
国土交通大臣表彰

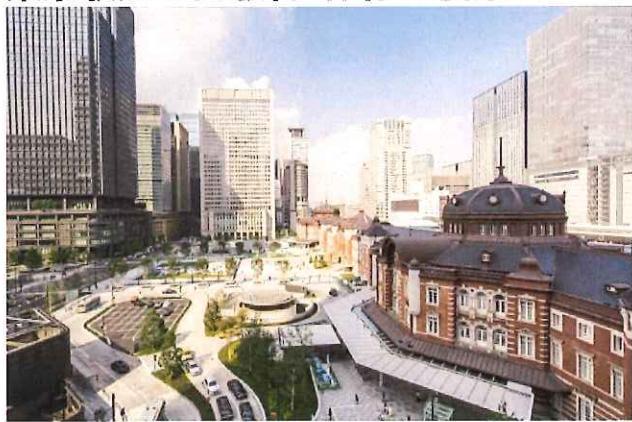
行政施設部門

高知県庁舎(免震レトロフィット)

文化施設部門

京都国立博物館 平成知新館

生活施設部門

東京駅丸の内駅舎 保存・復原**公共建築賞・特別賞**

-特に優れた特徴を持つ建築物として、毎回2点内外を選考。今回は3点が選考された-
国土交通省大臣官房官房官房長官表彰

東北地区 文化施設部門

弘前市民会館(大規模改修)

関東地区 文化施設部門

東京スカイツリー、東京スカイツリータウン

関東地区 生活施設部門

長野県立こころの医療センター駒ヶ根

第16回公共建築賞 公共建築賞

国土交通大臣表彰

行政施設、文化施設、生活施設の部門ごとに、最も優れた建築物として選考。

行政施設部門

高知県庁舎(免震レトロフィット)

岸田日出刀・東京大学名誉教授の設計による1962年竣工の庁舎の免震レトロフィット改修。水平線が強調された白いバルコニー、南国土佐の日射しが作り出す彫りの深いファサードの陰影など、端正で品格を感じさせる外観は、竣工後56年が経過した現在も輝いています。

耐震性確保のために増設した建物内中央部の柱・梁は、竣工当時の人造石つき仕上げのデザインを踏襲した手仕事により、初めからそこに存在していたかのようです。また、単なる建物保存ではなく、建築主の要望に対しても、重力換気による自然通風、ユーティリティ改修、円滑な台車運搬のための床改修など、改修設計者は細部にわたって丁寧に応えています。

来庁者や職員の不便もあったであろう長い工事期間を経て、『どこが変わったの?』と思う県民がいたとしたら、それこそが設計者の

狙いであったかもしれません。建物の良さを損なうことなく、その時代の要請に応え、活用し続ける姿勢は、建築的アプローチとともに十分評価に値するものです。

(吉野委員評)

所在地	高知県高知市丸ノ内1-2-20
敷地面積	22,061.41 m ²
建築面積	3,690.94 m ²
延べ面積	19,781.77 m ²
構造/階数	RC、SRC/地上6階、地下1階、塔屋3階
事業者	高知県
設計者	株式会社佐藤総合計画
施工者	清水建設・大旺新洋・ミタニ建設工業特定建設工事共同企業体
竣工年月	平成24年3月
総工事費	3,900百万円

文化施設部門

京都国立博物館 平成知新館

平成知新館の魅力をこのスペースのみで語り尽くすことは非常に困難だ。プロポーザル実施は1998年、その後、バブル崩壊後の不況や風致地区規制、発掘された遺構への配慮、中越地震を契機とした床免振への設計変更など、難しい課題に直面しつつも16年の年月を経て完成した。この敷地は豊臣秀吉が建立した方広寺のあった場所で、当時の石積みの痕跡や柱の跡が記憶として建物にも取り入れられている。

日本的な空間構成で直線を多用したモダニズム建築とオープンな展示空間は、従来の閉ざされた博物館とは一線を画し、自分がどこにいるのか把握しやすい。大型の超高透過ガラスの採用や照明の工夫、さらには接合部として使用する金属の最小化により、展示物の影を消し、展示物が美しく身近に感じられる。建物のプロポーション、壁・床など一つひとつ素材、自然光にこだわりを見せる建築家の谷口吉生氏の目指すものは「究極のシンプル」で、茶室を見る

ようだ。サイン計画、家具、造園まで統一的な環境を追求し、建物前面には光を引き立てる浅い池を配し、美しい映り込みが演出される。障子を通して柔らかな光、静寂、揺らぐ水が感じられ、心落ち着く場所となっている。

(白石委員評)

所在地	京都府京都市東山区茶屋町527
敷地面積	53,182.00 m ²
建築面積	5,568.00 m ²
延べ面積	17,997.00 m ²
構造/階数	RC、SRC、S/地上4階、地下2階
事業者	独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館 国土交通省近畿地方整備局
設計者	株式会社谷口建築設計研究所
施工者	戸田建設株式会社
竣工年月	平成25年7月
総工事費	18,903百万円

生活施設部門

東京駅丸の内駅舎 保存・復原

日常利用している「東京駅丸の内駅舎」を、改めて審査対象としてつぶさに見分することに若干の緊張感を感じた。ランドスケープアーキテクトとしての機能からの評を先んじて記せば、この建築物はただ単なる建築物ではなく、新たな広場をまといつつ、東京いや日本の都市文化の歴史的句読点の機能と効用を実に見事に表出させた象徴、アイコンであるといえよう。明治以来東京を核に様々な不幸を乗り越えながらも、都市美の希求という命題へのチャレンジは忘れてこなかつた日本であるが、この東京駅を起点として皇居に至る我が国唯一の直線、ビッグが復元されたことは實に嬉しい。しかもその容積移転を活用した都市計画手法から、設計者辰野金吾が原寸大で描いた装飾品に至るまで見事に修復されている。4文字熟語ではあるが保存修復は一筆書きで語ることはできない。躯体と基本的構造を保存しつつ、修復を追求する道は容易ではない。僅かな深

夜を縫っての作業。それを重ねながらさらに100年先を見つめた仕事に対し心から敬意を表したい。

(涌井委員評)

所在地	東京都千代田区丸の内1-9-1
敷地面積	20,482.00 m ²
建築面積	9,683.04 m ²
延べ面積	42,971.53 m ²
構造/階数	鉄骨煉瓦造、RC、S、SRC、免震/地上4階(一部5階)、地下2階
事業者	東日本旅客鉄道株式会社、公益財団法人東日本鉄道文化財団、日本ホテル株式会社
設計者	東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所
施工者	東京駅丸の内駅舎保存・復原工事共同企業体
竣工年月	平成24年10月
総工事費	50,000百万円

第16回公共建築賞 公共建築賞・特別賞

国土交通省大臣官房官庁営繕部長表彰

特に優れた特徴を持つ建築物として、毎回2点内外を選考。
今回は3点が選考された。

弘前市民会館(大規模改修)

東北地区 文化施設部門

「弘前市民会館」(大規模改修)は、昭和39年の竣工から約50年経過した建築を全面的に更新したものである。昇降機の新設、客席椅子の全面交換、空調、舞台機構の更新など機能改善を行うとともに、屋上防水や外壁のコンクリート打放し面を補修している。

重厚で表情豊かな打放しの外壁、ボリュームのあるホール棟と管理棟をスマートな車寄せ棟で結ぶシンプルな構成で、弘前公園の豊かな緑と相まって、凛とした雰囲気を醸し出している。

内部に入っても、その空間は落ち着いていて心地よい。リニューアル工事では、新しさを強調しがちだが、計算されたデザインと堅実で控え目な仕事により、「新」と「旧」の境目を感じさせない。

市民にとって身近な会館である。現地調査当日も多くの中高生が来場していた。私たちにも礼儀正しく挨拶する姿に、前川國男の建築が長い時間存在し、人を育んでいることを感じる。地域の愛着と

誇りを深く感じられる公共建築である。

(小野委員評)

所在地	青森県弘前市大字白銀町1-1
敷地面積	490,000.00 m ²
建築面積	3,236.14 m ²
延べ面積	5,593.73 m ²
構造/階数	地下1階、地上2階、塔屋1階
事業者	弘前市
設計者	株式会社前川建築設計事務所 (協力:有限会社アトリエタスク一級建築士事務所)
施工者	堀江・弘和・工藤建設工事共同企業体
竣工年月	平成25年12月
総工事費	2,865百万円

東京スカイツリー、東京スカイツリータウン

関東地区 文化施設部門

21世紀から25世紀へ、500年設計として日本の首都東京に建つスカイツリー。編んだ長い籠の中に筒が入っているようなデザインで、江戸の青、みやびの橙色のELDが似合う、このスティールサッシとアルミサッシのスクラムはまじかに見ると力強く、心柱の設計と相まって63.4mの長身が震度7に耐えることに納得する。もう一点、敷地の平面は正三角形であるのにいつの間にか円形の塔になる理由は、正三角形の敷地の頂点から伸びる線は「そり」、三角形の辺の部分から伸びる線は「むくり」で三角形が上に行くに従って円状になり、31.5mのところで円形となる設計も世界からの観光客に知って欲しいところ。

デジタル時代の電波塔は江戸ごみせ通り等ショッピング、レストラン、シアター、水族館、オフィスを併せ持ち、緑の公園空間は非常時災害時の避難場所ともなる公共性の大建築。600m超の上空

で設計通りにナットやボルトを締めてアンテナを立てた日本のトビ職に感動する。

(見城委員評)

所在地	東京都墨田区押上1-1-2
敷地面積	36,844.39 m ²
建築面積	32,221.47 m ²
延べ面積	229,728.92 m ²
構造/階数	タワーヤード 地上29階、地下1階、塔屋4階 イーストヤード 地上31階、地下3回、塔屋2階 ウエストヤード 地上7階、地下2階、塔屋2階
事業者	東武鉄道株式会社、東武タワースカイツリー株式会社
設計者	株式会社日建設計
施工者	タワーヤード 株式会社大林組 イーストヤード 大林組・株木・東武建設共同企業体 ウエストヤード 大成建設・谷内田建設共同企業体
竣工年月	平成24年2月
総工事費	総事業費として143,000百万円

長野県立こころの医療センター駒ヶ根

関東地区 生活施設部門

私は40年ほど前に、精神病院を設計した。当時の精神病院はかなり悲惨なもので、重症患者の入る保護室は独房の感じでした。体験で1週間、病院で暮らしたり、その病院の先生と全国の優秀だと言われる病院を見て、インタビューをしたり、かなり頑張って、當時としては最先端なものを作った。あの時、設計の難しさ、社会の冷たさを感じた。

長野県こころの医療センター駒ヶ根を訪ねると私の予想を超える進歩がそこにあった。南アルプスの山並みとも合った建物であり、エントランス付近は一般の人や患者が混じっていられるとても暖かい雰囲気の建物になっていた。トップライトのルーバーも細い単位で設けられており、街路をイメージしたエントランスからの通路は、普通の病院よりもアットホームであった。中庭は適切なサイズのゾーンに分けられ、心地良さを感じた。基本的な病院のタイプを守り

ながら、中庭からの採光が建物内部のどこでも明るくしていた。窓の側に設けられた椅子、各個室、ラウンジ、ローコスト化の工夫や、ナス型をしたドアノブ、カウンターの高さやその工夫等、ものすごく地道に考えられていた。

(新居委員評)

所在地	長野県駒ヶ根市下平2901
敷地面積	39,555.59 m ²
建築面積	6,985.77 m ²
延べ面積	10,184.68 m ²
構造/階数	地上3階
事業者	地方独立行政法人長野県立病院機構
設計者	株式会社共同建築設計事務所
施工者	1期工事 株式会社ヤマウラ 2期工事 株式会社岡谷組
竣工年月	平成24年3月
総工事費	2,866百万円

今回の受賞建築物は下記の候補建築物(32点)の中から選ばれました。

第16回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」受賞建築物一覧

公共建築賞・優秀賞 受賞建築物	所在地	地区
旭川駅	北海道旭川市宮前通西4153-1	[北海道地区]
豊富町定住支援センター	北海道天塩郡豊富町東1条6丁目	[北海道地区]
箱館奉行所	北海道函館市五稜郭町1番1・2、4番1・2、3番1・2、函館市本通1丁目21番	[北海道地区]
エリアなかいち	秋田県秋田市中通一丁目4-3	[東北地区]
弘前市民会館(大規模改修)	青森県弘前市大字下白銀町1番地6	[東北地区]
軽井沢アイスパーク	長野県北佐久郡軽井沢町発地1154-1 軽井沢風越公園内	[関東地区]
立川市子ども未来センター・たましん RISURU ホール(立川市市民会館)	東京都立川市錦町3丁目2-26 東京都立川市錦町3丁目3-20	[関東地区]
中央区立中央小学校・中央幼稚園	東京都中央区湊一丁目4番1号	[関東地区]
東京駅丸の内駅舎 保存・復原	東京都千代田区丸の内1-9-1	[関東地区]
東京スカイツリー、東京スカイツリータウン	東京都墨田区押上1-1-2	[関東地区]
長野県立こころの医療センター駒ヶ根	長野県駒ヶ根市下平2901	[関東地区]
糸魚川市立糸魚川小学校・糸魚川市立ひすいの里総合学校	新潟県糸魚川市中央1-2-1	[北陸地区]
サイエンスヒルズこまつ	石川県小松市こまつの杜2番地	[北陸地区]
Mà Roù の杜(長岡造形大学展示館)	新潟県長岡市千秋4-197 長岡造形大学内	[北陸地区]
一宮市尾張一宮駅前ビル	愛知県一宮市栄3丁目1番2号	[中部地区]
大口町立大口南小学校	愛知県丹羽郡大口町奈良子3丁目116	[中部地区]
掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1	[中部地区]
クリニックかけはし	愛知県名古屋市中村区稲葉地町2丁目16-8	[中部地区]
大阪木材仲買会館	大阪府大阪市西区南堀江4-18-10	[近畿地区]
京都国立博物館 平成知新館	京都府京都市東山区茶屋町527	[近畿地区]
兵庫県立淡路医療センター	兵庫県洲本市塩屋1丁目1-137	[近畿地区]
兵庫県立ものづくり大学校ものづくり体験館 Arkecture M	兵庫県姫路市市之郷1001番地1	[近畿地区]
広島市立広島特別支援学校	広島県広島市南区出島四丁目1番1号	[中国地区]
広島大学病院 診療棟	広島県広島市南区霞一丁目2番3号 広島大学霞岡地構内	[中国地区]
安来市立安来第一中学校	島根県安来市飯島町792番地	[中国地区]
米子市公会堂	鳥取県米子市角盤町2丁目61番地	[中国地区]
勝浦町立勝浦中学校	徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田45番地1	[四国地区]
高知県庁舎(免震レトロフィット)	高知県高知市丸ノ内一丁目2番20号	[四国地区]
独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター	香川県善通寺市仙遊町2丁目1番1号	[四国地区]
北九州市立戸畠図書館	福岡県北九州市戸畠区新池一丁目1番1号	[九州沖縄地区]
那霸市本庁舎	沖縄県那霸市泉崎1-1-1	[九州沖縄地区]
山鹿市立鹿北小学校	熊本県山鹿市鹿北町4丁目1469番地1	[九州沖縄地区]